



じぶんで育てる年金 iDeCo の活用術

2017年7月6日
NPO法人確定拠出年金教育協会
理事 大江 加代

本日本話すること

iDeCo のしくみと特長

iDeCo 活用とその考え方

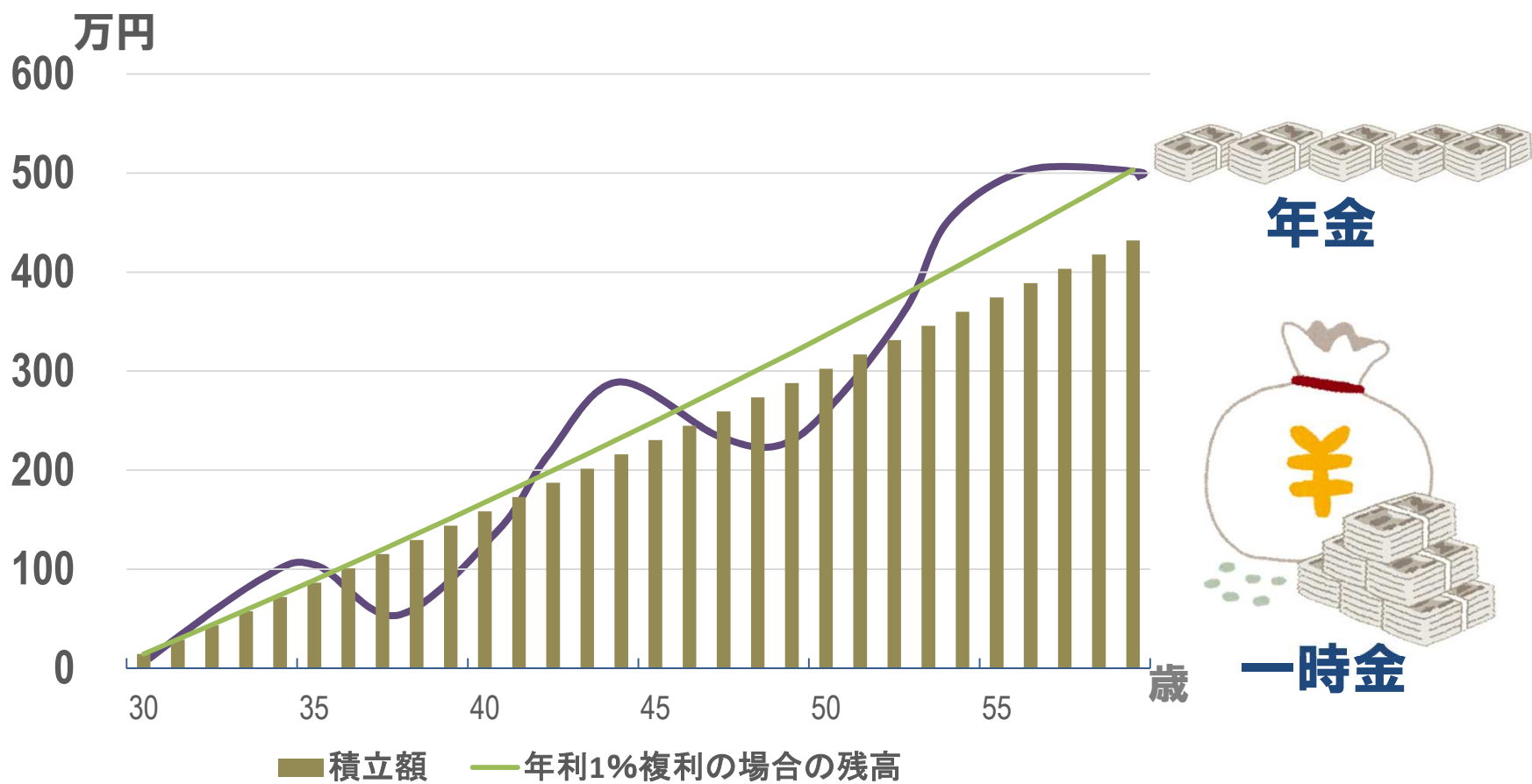
はじめるために必要な
3つの決定とその考え方

投資をはじめる前に知っておくべき
資産運用の基本

iDeCo のしくみと特長

国の制度

60歳まで積立て一時金か年金で受け取る



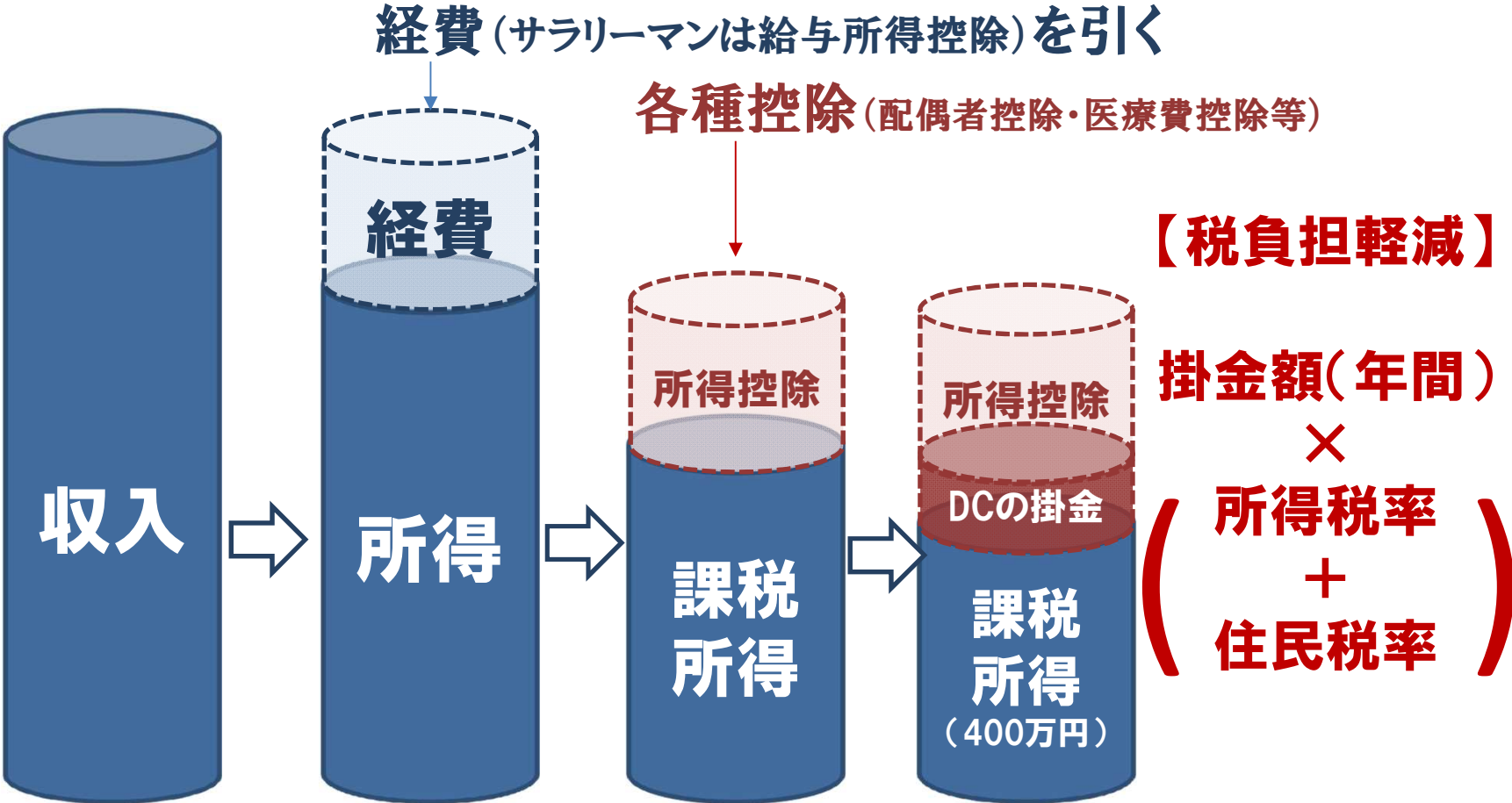
老後資産形成として最適

4つの大きなメリット

1. 大きな所得控除枠
2. 運用益非課税
3. 低い運用コスト
4. 老後資金の保全

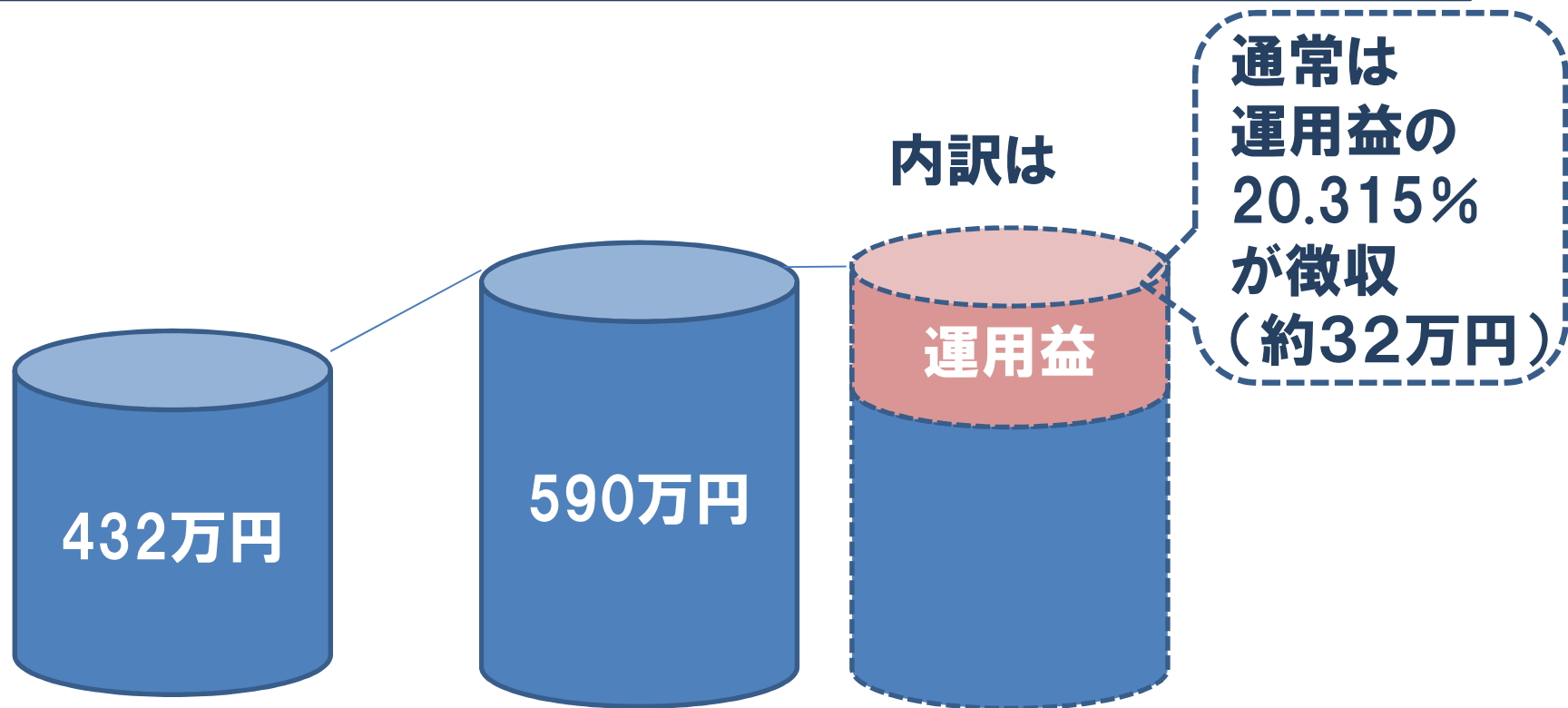


1. 所得控除の大きさ



2. 運用益非課税

【前提】iDeCoで毎月12,000円を30年間積み立て
運用益が年換算利回り2%だった



3. 低い運用コスト

投資信託の購入時手数料がかからない

信託報酬も低い水準が多い

確定拠出年金専用ファンド	信託報酬率	確定拠出年金以外一般向けファンド	信託報酬率
DIAM国内株式インデックスファンド	0.2376%	インデックスファンド225	0.5616%
三菱UFJ DC国内債券インデックスファンド	0.1728%	三井住友・日本債券インデックス・ファンド	0.1728%
野村外国株式インデックスファンド ・MSCI-KOKUSAI (確定拠出年金向け)	0.2376%	SMT グローバル株式インデックス・オープン	0.5400%
DCダイワ外国債券インデックス	0.2484%	eMAXIS 世界債券インデックス	0.6480%
野村新興国株式インデックスファンド (確定拠出年金向け)	0.6048%	eMAXIS 新興国株式インデックス	0.6480%
野村新興国債券インデックスファンド (確定拠出年金向け)	0.5940%	eMAXIS 新興国債券インデックス	0.6480%

※ 上記情報は「投信まとなび」(イボットソン・アソシエイツ・ジャパン)の2017年5月末現在のデータに基づいて、同じ投資対象のインデックス運用商品の中から比較的残高が多い商品を抽出しています。

4. 老後資金の保全

60歳までは絶対引き出せないというメリット！



え？引き出せないのは
デメリットじゃないの？

普通の目的で使うお金



引き出せないのは
デメリット！

老後資金として使うお金



引き出せないのは
メリット！

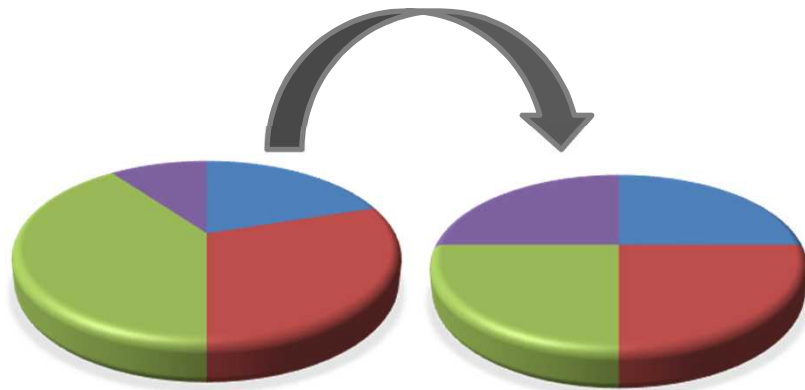
5. iDeCo のあらし(掛金)

- 1. 金額 月額 5,000円以上1,000円単位**
上限 12,000円
- 2. 納付方法 口座振替または天引き**
前納、追納という制度はなし。
口座振替の銀行としてネット銀行は不可
- 3. 金額の変更 年1回**
毎年4月～翌年3月までの間に1回だけ
被保険者種別変更時の金額変更は変更回数に含まず
- 4. 掛金拠出の休止・再開**
申し出 процедуруをすることにより可能

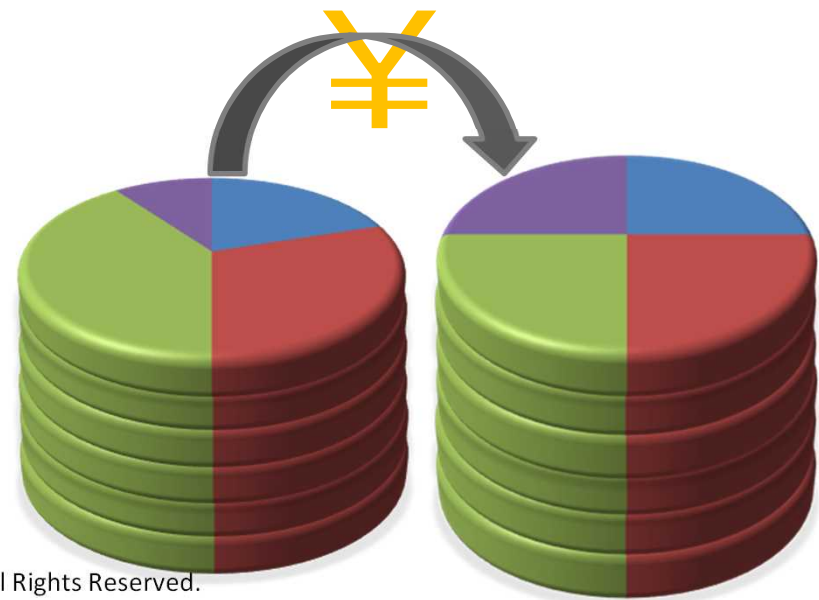
5. iDeCo のあらし(運用)

- 契約する金融機関が提示する預金や投資信託からひとつまたは複数選び指図する
- 掛金と残高の2つの指図がある

毎月の掛金の変更



残高の変更



5. iDeCoのあらし(給付)

「老齢給付金」「障害給付金」「死亡一時金」

老齢給付金

原則(※)60歳から給付請求可能

※受給開始年齢は通算加入者等期間によって異なります。
通算加入者等期間は
個人型年金および企業型年金における
加入者・運用指図者の期間の合算

通算加入者等期間	受給開始年齢
10年以上	満60歳
8年以上10年未満	満61歳
6年以上8年未満	満62歳
4年以上6年未満	満63歳
2年以上4年未満	満64歳
1ヶ月以上2年未満	満65歳

受取時課税

一時金は退職所得控除、年金は公的年金等控除の対象

70歳になっても請求しない場合は、全額一時金として支給

5. iDeCo のあらし(手数料)

いつ	いくら		誰に
加入	2,777円～3,857円		国民年金基金連合会 (略称:国基連)
積立 運用	口座 管理	167円～631円/月	国基連/事務委託先金融 機関/運営管理機関
	運用	商品によって異なる	運用会社/販売会社/受 託会社
受取	432円/回		事務委託先金融機関

iDeCo 活用とその考え方

老後資金準備は早めに

●三世帯同居の減少
⇒子供にお世話になれない

●長寿化
⇒必要額は増加傾向

●晩婚・晩産
⇒順番に準備すると時間切れ

年齢ごとの平均余命

年齢	男性	女性
0歳	80.79	87.05
30歳	51.46	57.51
40歳	41.80	47.73
50歳	32.39	38.13
60歳	23.55	28.83
70歳	15.64	19.92

平成27年度簡易生命表より

老後資金準備を実現するには



人間は遠い将来のことを軽んじる傾向（行動経済学ではこれを「双曲割引」という）がある。

対策 その1

手間をかけない
「天引き」の活用

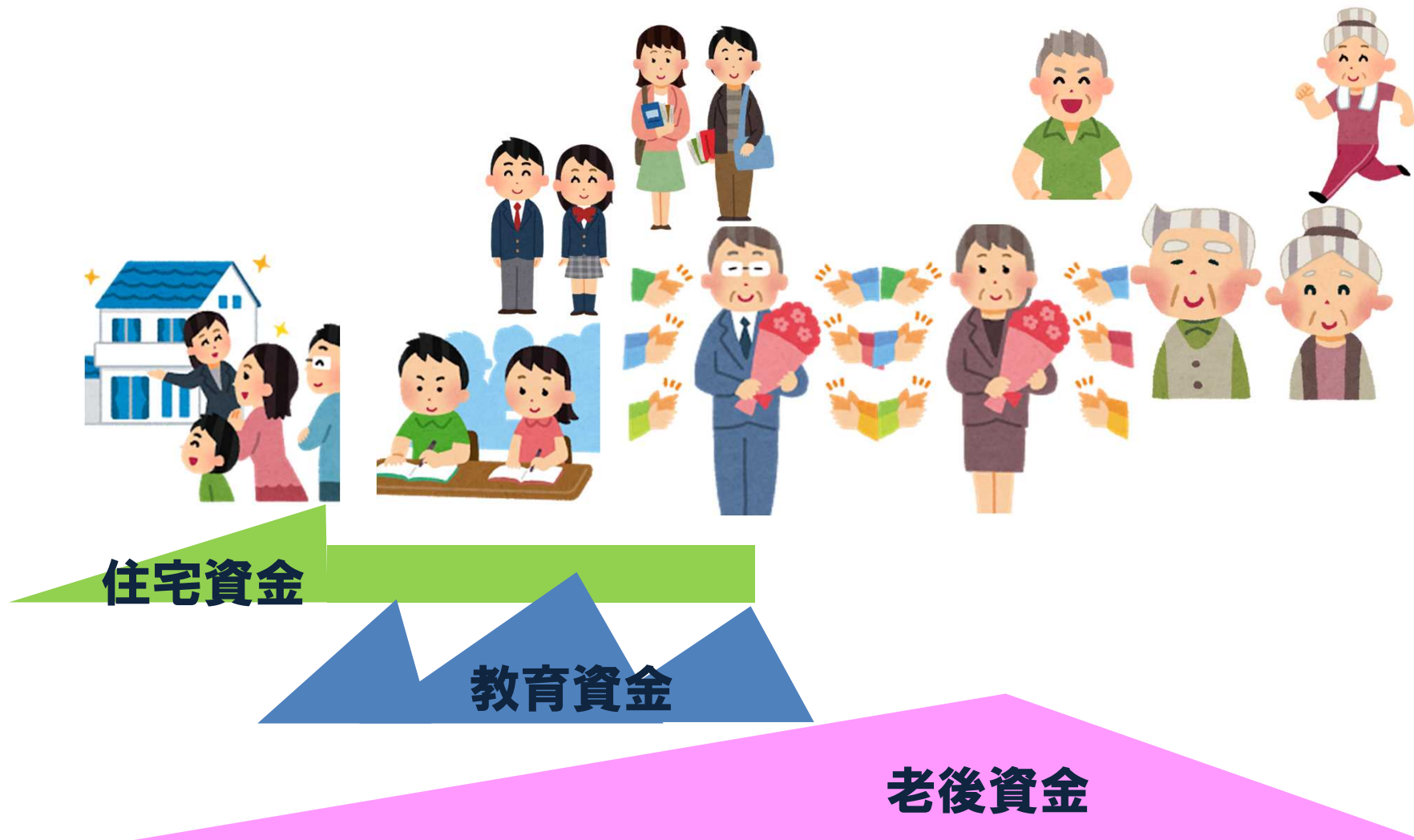
対策 その2

途中払い出しでき
ない仕組みの活用

iDeCo

は有効な手段

ライフプランに合わせた制度の活用



ライフプランに合わせた制度の活用



住宅資金

教育資金

老後資金

共済貯金

退職一時金
公的年金

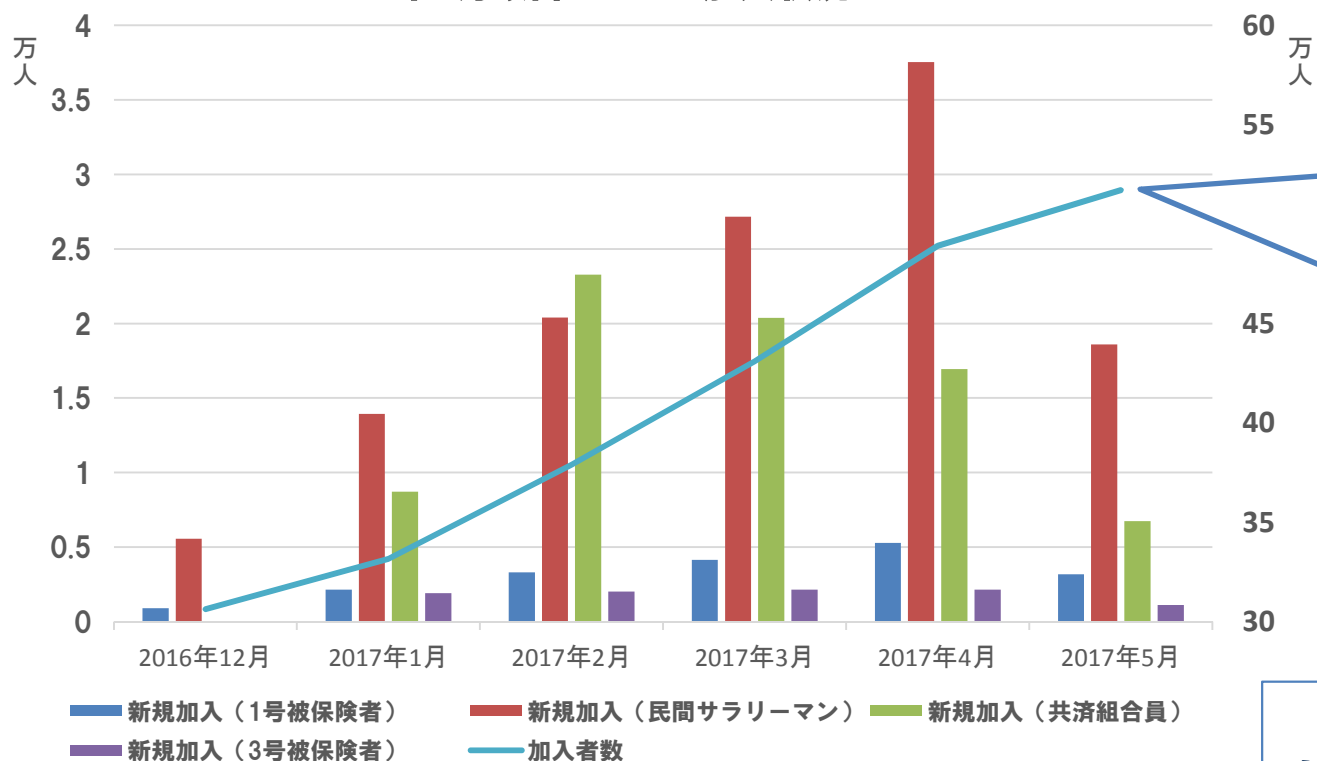
財形住宅

財形年金

iDeCo

iDeCo の普及状況

2017年1月以降のiDeCo加入状況



52万人
(5月20日受付)
242,452事業所
(5月末)

(ご参考)

企業型確定拠出年金

加入者数: 624万人(4月末)

事業所数: 26,889社(5月末)

厚生労働省ホームページの「確定拠出年金の施行状況」の各月データより作成

企業年金の普及・拡大

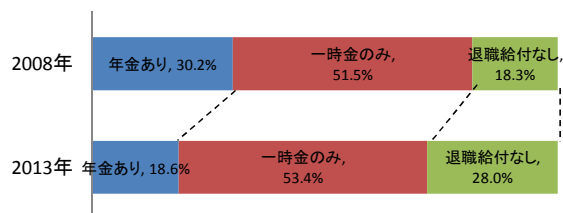
□ 企業年金の普及・拡大を図るため、「簡易型DC」や「個人型DCへの小規模事業主掛金納付制度」の創設、DCの掛金単位の年単位化等の措置を講ずる。

※その他、企業年金連合会における投資教育の共同実施や事務手続の緩和等も併せて実施。

① 中小企業向けの取組

・ 中小企業における企業年金実施割合は低下傾向。

＜企業規模30～99人の企業における退職給付の実施状況＞



・ 厚生年金基金制度の見直しで中小企業の受皿が必要。

＜厚生年金基金の設立形態別基金数（平成24年度末時点）＞



8割が中小企業

② DCの掛金単位の年単位化

- ・ 企業型DCの掛金は、月単位で規制（月5.5万円）。
- ・ 前月に拠出限度額の使い残しがあった場合でも、翌月に繰り越して掛金を拠出できない。

※前月に4万円拠出した場合、その翌月に前月の余りの拠出限度額分（1.5万円）と、その月の拠出限度額分（5.5万円）を併せて7万円拠出するのは不可。

□ 従業員数100人以下の企業を対象に以下の対策等を実施。

『簡易型DC』：設立時書類を簡素化（※）し、行政手続を金融機関に委託可。

※「運営管理機関契約書」や「資産管理契約書」等の設立書類を半分に以下に省略。

『個人型DCへの小規模事業主掛金納付制度』：個人型DCに加入している従業員に対し、事業主が追加で掛金拠出を可能とする。

国民年金基金連合会（個人型DC実施機関）



【小規模事業主掛金納付制度】
加入者掛金に追加で、事業主が掛金拠出。

□ 柔軟な拠出を可能とするため、拠出の規制単位を年単位（月5.5万円→年66万円）とする。

□ 年66万円の範囲内で、賞与時に使い残し分の一括拠出等が可能。

はじめるために必要な 3つの決定とその考え方

1. 掛金額

配慮すべきiDeCoの特長

- ① 60歳以降しか下ろせない
- ② 税制面の優遇がある



現役時代のライフプランの実現
老後資金を準備するリタイアメントプラン
の両立

無駄な支出を削減⇒掛け金額を捻出

2. 運営管理機関

慎重に選ぶ必要がある

【その理由】

- ① 1社しか契約できない
- ② 商品・手数料・サービスが異なる
- ③ 途中で変更することがなかなか難しい



2. 運営管理機関

各社のプランごとに異なる主なサービス

商品の 品揃え	カテ ゴ リ	本数		
サービス	コール センター	WEB サービス	店頭・ セミナー	給付 方法
費用	加入時 手数料	口座 管理料	信託 報酬	給付時 振込料

2. 運営管理機関

サービスを比較し、検討する



NPO法人 確定拠出年金教育協会

<http://www.dcnenkin.jp/>



モーニングスター株式会社

<https://www.morningstar.co.jp/ideco/>

3. 商品配分

非課税のメリットを活かす

制度と置き場所(アセット・ロケーション)を工夫すれば、
リスクを高めずにリターンを高められる

定期(預金)と投資信託(投信)に50%ずつ配分
預金の金利年0.1%、投資信託の値上がり率 年3%だったとすると

	預金の利率 (A)	投信の値上がり (B)	税引後の全体収益 (A+B)÷2
投信を課税口座 預金を 非課税 口座	0.1%	2.4%	1.25%
預金を課税口座 投信を 非課税 口座	0.08%	3%	1.54%



3. 商品配分

配慮すべきiDeCoの特長

- ① 長期・継続の少額の積立運用
- ② 税制面の優遇がある
- ③ 低コスト商品が多い



資産全体を考慮した分散投資
コストを意識した商品選択

資産運用の基本 iDeCo における運用を中心に

1. 投資信託の種類

基本的な投資信託の種類

投資対象

株式

債券

不動産

...

×

国内

外国

投資手法

アクティブ

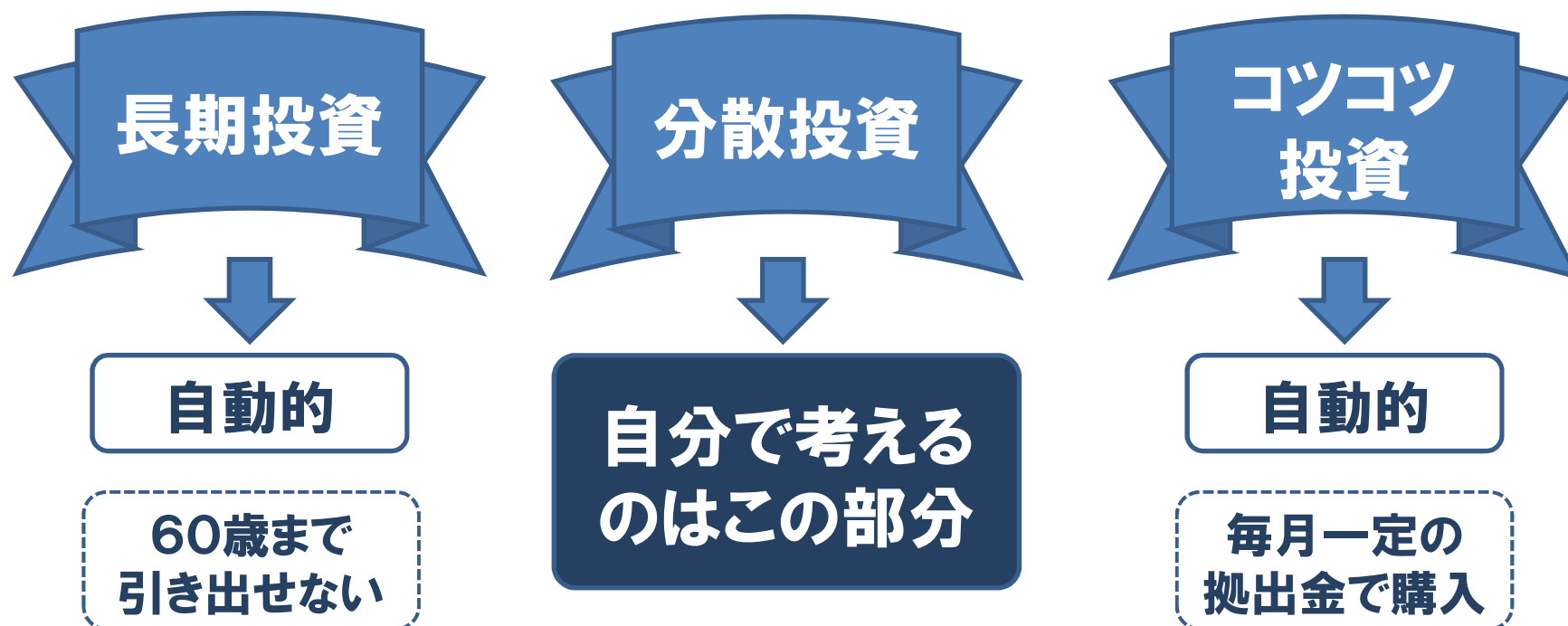
- ・コストが高い
- ・ベンチマークを下回ることもあり得る

パッシブ

- ・コストが安い
- ・ベンチマーク以上の成績は上がらない

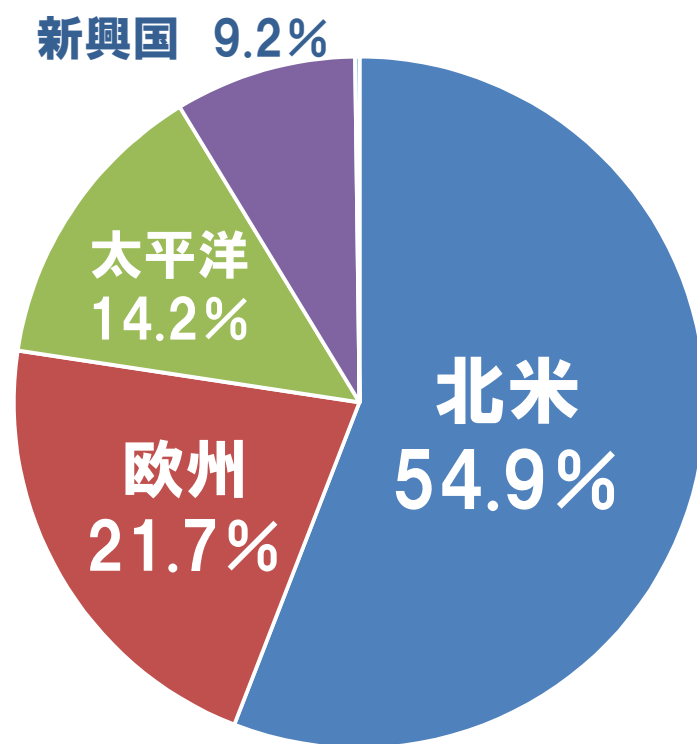
2. 資産運用ってどうやればいいのか？

長期に、分散して、コツコツ投資すること



3. 分散投資のひとつの考え方

世界の市場にマーケット規模(経済規模)に合わせた比率で投資する。

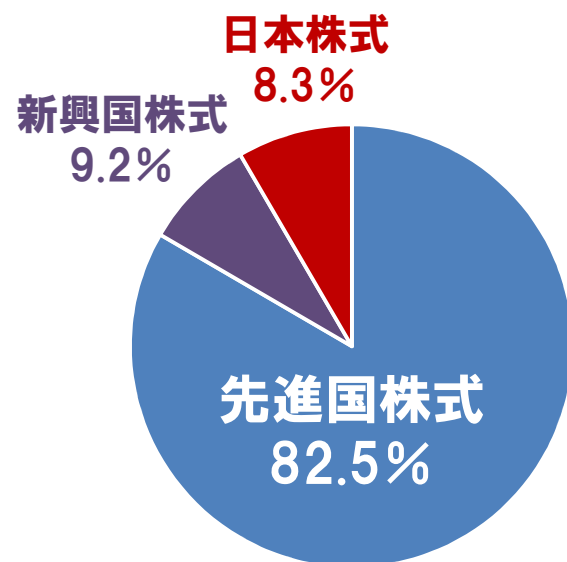


(2017年5月末現在)

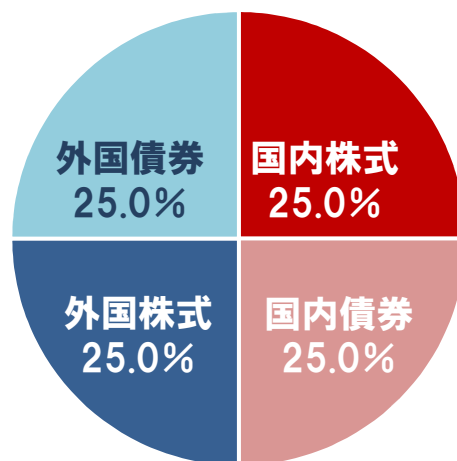
3. 分散投資のひとつの考え方

こんなポートフォリオはいかが？

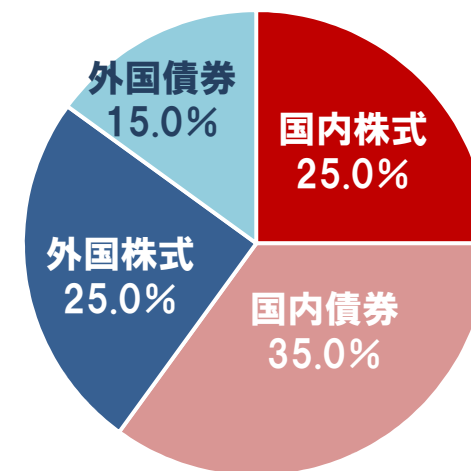
1. 市場規模型



2. 均等配分型



3. 公的年金型



4. 最も大切なことは「リスク許容度」

リスク許容度を決めるのは・・・



保有資産額

自分が、どれぐらい
資産を持っているか



リスク耐性

自分が、どれぐらい
リスクに耐えられるか

5. iDeCo における運用の考え方

1. 自分のリスク許容度を考える
2. 自分の資産全体で分散投資を考える
3. 確定拠出年金は
なるべく期待リターンの高いもので
4. 商品の手数料を最も注意する

【まとめ】 iDeCo活用の意義

老後不安の解消

投資の経験

老後、自分らしい暮らしを
資産管理しながら暮らす

リタイアメント
プランニング



金融機関の比較検討サイト「iDeCoナビ」案内チラシをご用意しました

The image shows a screenshot of the NPO 401k Education Association website. A blue arrow points from the 'iDeCoナビ' link in the bottom navigation bar to a flyer for the 'iDeCo (Individual Defined Contribution Pension) Navigation Site'. The flyer is titled 'iDeCo (個人型確定拠出年金) の加入を考えるなら...' and provides information about the site's features and content.

iDeCoナビ (個人型確定拠出年金ナビ)

退職される従業員への移管手続きで困っている。といった事業会社の担当者さまからの声をもとに、当協会が、「企業型加入資格喪失者の移管手続きをサポート」する専用サイト「iDeCo(イデコ)ナビ」(個人型確定拠出年金ナビ)をオープンいたしました。

本WEBサイトでは、個人型確定拠出年金の初歩から、手続きの方法・金融機関の探し方など様々な情報を提供しております。
利用料はかかりませんので、従業員へご案内ツールとして是非ご利用ください。

【サイトの特長】

- 個人型確定拠出年金へ加入(あるいは移換)される方をやさしくナビゲートします。
- シンプルに最低限必要且つ具体的な情報に絞り込んで提供します。

【主なコンテンツ】

- ざっくりわかる個人型確定拠出年金の魅力
 - 掛け金に応じた税メリットをざっくり把握
- 金融機関選びのチェックポイント
- 自分にあった金融機関の絞り込み機能
 - 手数料で比較
 - お近くの金融機関で比較
 - 商品内容で比較

「iDeCo(イデコ)ナビ」(個人型確定拠出年金ナビ)はこちら

中途退職者ご案内リーフレット
企業型の資格喪失者向けのご案内リーフレットがダウンロードできます。様からお渡しく下さい。
詳細はこちら

新規加入ご案内リーフレット
はじめてiDeCoの加入を検討される方向けのリーフレット
詳細はこちら

iDeCo (個人型確定拠出年金) の加入を考えるなら...

個人型確定拠出年金のお助けサイト <http://www.dcnenkin.jp/>

面倒な運営機関選びなどをやさしくナビゲートします
ユーザー登録など一切不要！ご自由に活用ください

iDeCo ナビ I
加入資格がわかります。
資格による掛金上限も簡単診断

iDeCo ナビ II
掛け金の即税メリットが
ざっくりわかります。

iDeCo ナビ III
最大の難関！
金融機関選びをサポート

- 選び方を紹介
- 商品・費用・地域などで金融機関を絞り込み可能
- 資料請求に必要な情報を掲載。

3つくらいまでに絞ったら
まずは資料請求！
そして届いた資料をよく確認して
それから申込をしよう！

自分で見る
印刷できる
iDeCoナビ
WEB版

QRコード